

KISC

5

2026
May

Kagoshima Industry Support Center



株式会社 **いよま園**
代表取締役社長
新山 寛樹さん

今号の表紙



2025かごしま特産品コンクール
鹿児島県知事賞受賞
かごしま抹茶&シェイカーセット

今号の表紙は、日置市伊集院町で鹿児島茶の製造・販売を手掛ける株式会社にいやま園の代表取締役社長 新山 寛樹さんです。

鹿児島市から国道3号線を北上し、同町の麦生田に差し掛かると、手が届く高さまで低く傾斜した瓦屋根の建物と石蔵が見えてきます。小窓と煙突が印象的な歴史を感じさせる建物が、店舗と加工場です。

同社は鹿児島県経済連でお茶の販売やお茶農家の指導に従事した先代社長が、出身地である現地で昭和60年に開業しました。その後、法人化され、令和6年に御子息である現社長に承継されています。

店舗・加工場は、昭和20年に建築され地元の産業組合の工場として使われていた建物です。隣接する石蔵は昭和18年築で、食糧の保管・配給拠点となる政府指定の穀物倉庫だったそうで、今は最新設備を整備し、茶葉の保管庫として使用されています。

◆事業内容と強み

同社の最大の強みは、鹿児島県茶市場に県内各地から出荷されたお茶を、直接買い付けることができる「指定買参権」を保有していることです。この権利は県内で20社ほどしか持っていません。「全国茶審査技術競技大会」に県代表として出場するほどの技能を持つ社長が、色・香り・手触りなど五感をフルに活かして、数多く出荷された荒茶の中から、顧客の好みに合った最適なものを仕入れます。

◆抹茶シェイカーが県知事賞を受賞

同社は、かつては問屋への原料販売のみでしたが、現社長が家業に戻った13年ほど前から、自社ブランド「新山」を確立し、小売りにも力を入れ始めます。緑茶に加え、「桜島小みかん」など県内産の果実をブレンドしたフレーバーティーやギフト商品など、品ぞろえを充実させていきました。

若い人に手に取ってもらえるよう、商品名やデザインにも工



株式会社 にいやま園

代表取締役社長 新山 寛樹

<企業概要>

所在地 日置市伊集院町麦生田2142

創業 1985年

従業員数 11名

事業内容 茶の製造加工・販売

T E L 099-273-9820

F A X 099-273-9224

U R L <https://ochanoniiyamaen.com/>

夫が凝らされています。

その中でも大きな成果を上げたのが、2025かごしまの特産品コンクールで最高位の知事賞を受賞した「かごしま抹茶&シェイカーセット」です。

世界的な抹茶ブームの一方で、家庭に茶せんがないという課題に着目。「もっと気軽に楽しんでほしい」という思いから、ダマになりにくい専用シェイカーと、高品質な一番茶の個包装抹茶をセットで商品化しました。英語表記を取り入れ、QRコードからレシピ動画が見られるよう工夫した点も、海外にも通用する製品として高く評価されました。パッケージには桜島や和のデザインが施され、土産物としても人気の商品となっています。

同社には抹茶を求める海外からの引き合いも増えているようですが、「ブームだからこそ慎重な対応が必要」だと、社長は冷静に現状を見ています。

◆次世代へ続く会社組織づくり

以前の家族経営から脱却し、「若い社員が定年まで安心して働き続けたいと思える会社」にするため、同社は現在、よろず支援拠点生産性向上支援センターのサポーターの支援を受けながら、「カイゼン活動」に取り組んでいます。「理想は理想として、会社の現状にあった、無理なく継続できる活動への助言が得られる。今後も続けていきたい」とのことです。これまでの取組で、利益率の向上などの成果も現れているとのこと。

OEMにも対応し、「受託先の要望にあったお茶を作ることができる」と技術力には自信をお持ちです。

一方、飲まれ方の変化や消費量の減少も受け止めています。「粉末でもペットボトルでもお茶を飲んでもらうことに変わりはない。まずは手に取ってもらい、おいしい、また買ってみようと思ってもらうことから始めたい」「常に『おいしいお茶を提供する』という軸は変えず、世の中の変化に対応していきたい」と語る社長の言葉からは、歴史ある建物をアイコンとして、伝統を守りながらも、既成概念にとらわれず、お茶の可能性を広げたいこうとする強い意思が感じられました。

【2020年4月KISC会員加入】

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 特集 かごしま産業支援センター 令和8年度主要事業の紹介
- 11 ベンチャープラザコーナー
- 14 特集 KISC会員支援事業の紹介
- 15 かごしま産業支援センター組織・機構
- 16 広告



私の 思い



公益財団法人かごしま産業支援センター
よろず支援拠点生産性向上支援センター
生産性向上支援統括サポーター

沼田 元信

- ・鹿児島市出身
- ・昭和60年3月 鹿児島大学工学部卒業
- ・神奈川県のミツミ電機(株) (現在のミネベアミツミ(株)) に就職後Uターン
- ・平成4年5月 (株)トヨタ車体研究所 (霧島市) 特装車の設計・評価、地域企業の支援に従事
- ・趣味 ゴルフ (年間30~40ラウンド)

「生産性向上」を企業の未来のために

生産性向上支援センターとは

今年4月、鹿児島県よろず支援拠点内に新たに設置された「生産性向上支援センター」に、統括サポーターとして着任いたしました。

生産性向上支援センターは、中小企業庁が全国のよろず支援拠点に設置する公的な支援機関です。「モノづくり」や「AI・DX」の専門知識を持つサポーターが現場に寄り添った複数回の伴走支援を無料で行います。

製造業だけでなく飲食業、宿泊業、小売業などの業種も支援対象です。

まずは相談を

「せっかく注文をもらったのに対応できない」、「整理・整頓が定着しない」、「機械を入れて作業を自動化したいが予算に余裕がない」、「手書きの伝票が多く、確認に時間がかかっている」、「残業が常態化している」・・・

問題意識を持っていても、「人手不足だから仕方ない」、「何から手を付けてよいかわからない」、「忙しくて手が付けられない」とあきらめていませんか。

まずはお気軽にご相談ください。

地元に寄り添う支援を

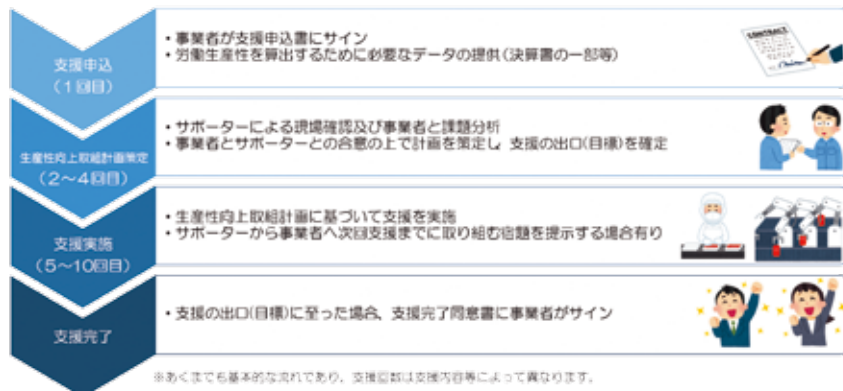
鹿児島県は、農業、畜産業が盛んということもあり、食品関連製造業が多く存在しています。その多くは中小・零細企業ですが、雇用や地域コミュニティの維持に重要な役割を担っています。

前職のトヨタ車体研究所では、県内の中小企業を訪問し、トヨタグループで実践している「カイゼン」の考え方や手法を展開・支援してまいりました。素材の良さだけでなく、昔から変わらない製法を続ける企業とその製品は、地元で愛され、他に代えがたい存在であることを実感することが多くありました。また、お付き合いさせていただいた社員の皆さんや地域貢献に積極的に取り組む社長さんの姿からは、そこに勤める社員だけでなく、その家族を含む地域との親密な結びつきも感じられました。

数字をベースにして、人手をかけず、早く、必要な量を作るための支援だけでなく、ベテラン社員や創業者である社長の「勘」を「ノウハウ」として次の世代へ継承し、社員の皆さんが働きやすく、長く勤めたいと思うような企業として存続するためのお手伝いができればと思っています。

生産性向上の取組が、企業が未来へ向けた投資を行うための「稼ぐ力」を生み出す手段として定着することを願っています。

生産性向上 支援センターの 支援の流れ



特集

かごしま産業支援センター

令和8年度主要事業の紹介

1 新事業創出等支援 290,807千円

企業の事業化、販路拡大、生産性向上等の伴走支援、経営・技術専門家の派遣、創業者に対する助成、企業のチャレンジを担える人材とのマッチング支援など、起業や新事業の創出、経営改善や生産性の向上等を支援します。

・よろず支援拠点事業

(1) ワンストップ相談窓口

中小企業等の売上拡大や経営改善等の様々な経営相談に応じるコーディネーターを設置し、課題解決に最適な手法を選択して支援します。

<支援内容>

- 1 専門性の高い経営支援
売上拡大や経営改善などの経営課題の解決に向け、専門性の高い提案とフォローアップを実施
- 2 地域の総合的な経営支援
他の支援機関との連携を強化し、適切な支援機関の紹介、相互連携の調整等を実施
- 3 政策的な重要分野への対応と地域の支援機関の補完
ITを活用した生産性向上に向けた取組、事業承継、人手不足問題、価格転嫁、原価管理並びに他の支援機関による支援の実態やニーズを踏まえ、補完すべき分野について重点的に支援を実施



《相談風景》

7年度実績	相談者数：2,382社・者、相談対応件数：10,086件
-------	------------------------------

◇新規事業◇

(2) 生産性向上支援センター

中小企業等の生産性向上（特に労働投入量の効率化）に向けて複数回の現場訪問型の伴走支援を行うサポーターを設置し、ワンストップ相談窓口とも密に連携し、中小企業等に必要な支援を行います。

<支援内容>

- 1 生産性向上のプロがアドバイス
生産性向上に関する知識・経験豊富なサポーター（生産性向上支援サポーター）が専門性の高いアドバイスを無料で提供
- 2 無料で複数回の現場訪問支援
生産性向上支援サポーターが中小企業等の現場を継続的に訪問し、伴走支援を実施

・専門家派遣事業

中小企業等の様々な経営相談に対応して、専門家を派遣し、診断助言を実施します。

（1企業当たり年間8回程度）

7年度実績	8社（延べ37回派遣）
-------	-------------

・プロフェッショナル人材戦略拠点事業

中小企業等に、新製品開発、新規販路開拓をはじめとした新たなチャレンジを積極的に促し、その実現を担うことのできる人材と企業とのマッチング（副業・兼業も含む）をサポートします。

<支援内容>

- 1 「攻めの経営」への転換促進（意識喚起）
- 2 プロ（専門）人材雇用の決断促進（人材ニーズの具体化）
- 3 プロ（専門）人材とのマッチング支援（人材ニーズの取次）

4 フォローアップ

7年度実績	相談件数：135件、取次件数：95件、成約件数：60件（うち高度副業・兼業：38件）
--------------	--



※ 当拠点の常勤雇用人材支援を利用された企業様も、高度副業・兼業人材活用が初めてであれば対象となります。

・新産業創出ネットワーク事業

新事業の研究開発や新事業の実施に対する補助金支援、事業計画策定から新事業実施まで一貫した伴走支援、新事業創出に関連するセミナー等を実施し、独自の技術や地域資源等を活用した県内中小企業の新産業の創出を図ります。

支援内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 伴走支援 新規事業への取組意欲が高い県内中小企業等の掘り起こしや、支援実績が豊富な専門家による事業計画のPDCA、課題解決の手法、資金調達の相談等の伴走型の支援 2 セミナー等の開催 新規事業に不可欠なスキルやマインドを持った人材を育成するための勉強会や、最新のテクノロジーやビジネスモデル等を学ぶことができるセミナーの開催 ①ビジネスセミナー（3回程度） ②社内中核人材勉強会（5回程度） 3 ネットワーク化支援 補助事業者の成果発表等を通じて、県内外の企業等の交流の場を創出し、参加者同士のつながりを構築することで、更なる販路開拓やマッチングを支援する（3回程度） 4 事業計画ブラッシュアップ支援 新規事業に取り組むために、実行性が高い事業計画を策定するに当たって必要となる市場調査・基礎研究等に要する経費を補助 5 研究開発支援 新事業創出のために実施する新技術や新製品の研究開発を行う県内の中小企業者に対し、研究開発経費の一部を補助 6 新事業創出支援 独自の技術を用いた新製品・新サービスの開発や、地域資源を活用した地域課題の解決に資する製品・サービスの開発に取り組む県内の中小企業者に対し、人材育成、研究開発、販路開拓等に要する経費の一部を補助
7年度実績	伴走支援：14社、ビジネスセミナー：3回、社内中核人材勉強会：5回、ネットワーク化支援：3回、事業計画ブラッシュアップ支援：4社、研究開発：（継続）2件（新規）2件、新事業創出：（継続）12件（新規）6件

主な実績

2 セミナー等の開催

① ビジネスセミナー



② 社内中核人材勉強会



3 ネットワーク化支援

(かごしまチャレンジャーサミット)



5 研究開発支援



圧造成型における予圧確認ツールの開発と予圧の品質保証事業化
(三豊機工株)

6 新事業創出支援



ロボット支援手術用針付き縫合糸の開発・製造・販売
(日腸工業株)



肥満予防に喜界島産ボタンボウフウを使用した機能性表示食品原料の製造と販売
(株喜界島薬草農園)

・起業準備プログラム事業

起業準備者がビジネスプランの実現に向けて具体的な行動を起こし、起業に向けた具体的一歩を踏み出すため、ビジネスの立ち上げに必要な資金調達や販路開拓等の具体的なアクションプランの作成の支援等、起業準備者の各フェーズに合わせた実践的な支援を継続的にを行います。

<p>起業支援の流れ</p>	<p>(鹿児島県 起業支援プロジェクト事業 全体図)</p> <p>※ ビジネスプランコンテスト関係及び実践プログラムは県が実施</p>
<p>かごしま産業支援センターで実施する事業</p>	<p>起業準備プログラム</p> <p>【対象者】・補助事業者 【内容】・個別メンタリング：年間15回程度 ※ 参加費無料</p> <p>起業支援事業</p> <p>県ビジネスプランコンテストの最終審査会参加者等を対象に、そのビジネスプランの事業化を推進するために必要な費用の一部を助成します。</p> <p>【対象経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 起業及び新事業展開のための準備に必要な経費 ・ 新たな商品・サービスの市場調査等のために必要な経費 ・ 商品・技術の開発のために必要な経費 ・ 商品・サービスの特性を情報発信し広報するために必要な経費 ・ 商品・サービスの販路開拓及び販売促進のために必要な経費 <p>【補助率等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記経費の2/3以内（限度額 1,500千円） ※ 審査会を経て予算の範囲内で助成します。
<p>7 年度 実績</p>	<p>起業準備プログラム：個別メンタリング 15回 起業支援事業：5件</p>

主な実績（起業支援事業）



ひふみよ(株)
鹿児島市：クラフトビール缶
製造設備の整備





善きよ一き
鹿児島市：くうぼーる
製造設備の整備等



・経営革新等伴走型支援事業

代替わりを契機として、経営革新による企業の飛躍を図るため、専門人材を活用し、伴走型支援による事業の磨き上げを行います。

また、これを通じて、未来を担う次世代経営者（後継者）の育成を推進します。

7年度実績	県下商工会議所等と連携した経営革新計画承認件数：7件
-------	----------------------------

2 戦略的産業振興支援 76,252千円

新たな産業の創出のため、新技術・新製品の研究開発や効率的で質の高い生産体制の整備などを支援します。

・成長型中小企業等研究開発支援事業

中小企業・小規模事業者が大学・公設試験研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発や試作品開発、その成果の販路開拓に係る取組等を一貫して支援し、中小企業・小規模事業者による情報処理、精密加工等のものづくり基盤技術の向上を図ります。

7年度実績	2件
-------	----

3 地域資源活用支援 1,000千円

地域資源の活用や農林漁業者と商工業の連携による新商品等の試作品開発・販路開拓等への助成により、新事業の創出等を支援します。

・魅力ある食品開発支援事業

本県の地域資源である豊富な農林水産物を活かし、機能性表示食品やハラル認証食品、ロカボ食品（低糖質食品）の研究開発、賞味期限の長い商品（フリーズドライ食品など）やアップサイクル商品等の付加価値の高い食品の研究開発及び商品開発を支援します。

支援内容	原材料費、機械装置費、工具器具費、外注加工費、直接人件費、研究費、旅費
助成率等	2/3以内（限度額 100万円） 助成期間 単年度
7年度実績	1件

主な実績



城山の森（クスノキ）から酵母の分離と分離酵母の実用化（城山観光株）

4 研究開発・技術支援 14,106千円

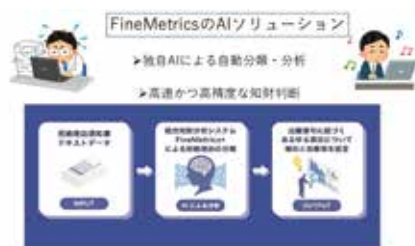
DX、AI・IoTの活用や新技術・新製品開発及び外国出願等への助成、産学官の連携や大学等技術シーズとのマッチングなどにより、研究開発や新たな技術向上を支援します。

・先端技術研究開発支援事業

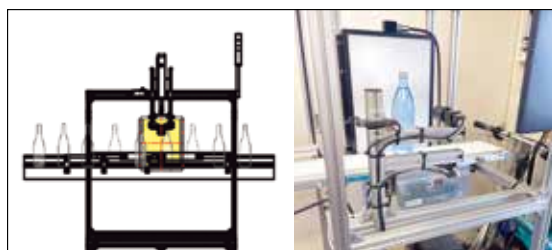
自社のアイデアや技術を活用し、①オンリーワンといえる革新的な新技術・新製品の研究開発、②DX、AI・IoTやロボット等先端的な技術を活用したシステム開発等、③GX、カーボンニュートラルの実現に向けた研究開発を支援します。

支援内容	原材料費、機械装置費、工具器具費、外注加工費、研究費、旅費
助成率等	2/3以内（限度額 200万円） 助成期間 単年度
7年度実績	2件

主な実績



AIによる特許戦略のスマート構築システム
(株)FineMetrics 鹿児島事業所



AIとロボットを活用したボトルチェッカ装置の開発
(株)システムビジョン

・シーズ・ニーズ・マッチング促進事業

大学や公設試験研究機関などの研究シーズと、新技術や新製品の開発に取り組んでいる鹿児島県内の中小企業等のニーズを発掘、収集、提供することにより、双方のマッチングを図ります。

7年度実績	シーズニーズ調査：58件、窓口対応：126件、マッチング：19件
-------	----------------------------------

・海外出願支援事業

外国の特許出願等（特許・意匠・商標・実用新案、抜け駆け対策商標）に要する経費の一部を助成します。

支援内容	特許等の出願手数料、代理人費用、翻訳費用等
助成率等	1/2以内（限度額 1企業につき300万円、1出願につき30～150万円） 助成期間 単年度
7年度実績	7件（特許・商標）

・かごしま産業技術賞事業

鹿児島県内の企業等が原則として最近3年間に開発した新製品・新技術を公募し、特に優れたものを表彰します。

5 マーケティング等支援 38,446千円

新製品等の販路開拓助成、商談会の開催、県外展示会への出展支援等を行うとともに、取引あっせんや専門調査員による情報収集・提供などにより、マーケティング等を支援します。

・ベンチャープラザ鹿児島「二水会」開催事業

ベンチャー企業に新製品・新技術等の発表の場を提供し、販路拡大等の取組を支援します。

7年度実績	2回開催（県内企業6社発表）
-------	----------------



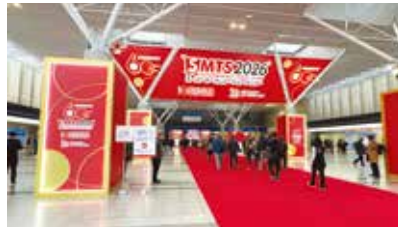
《ベンチャープラザ鹿児島「二水会」》

・**がんばる企業の新製品等販路拡大助勢事業**

県内中小企業者が自ら開発した新商品・新製品の海外展開を視野に入れた販路開拓を支援するため、国内（県内を除く）で開催される、海外バイヤーが参加する企業間取引（BtoB）の商談会・展示会出展の経費の一部を助成します。

また、出展効果を高めるための専門家によるセミナー（オンライン）も開催します。

支援内容	国内で開催される海外バイヤーが参加する企業間取引（BtoB）の商談会・展示会への出展に要する経費
助成率等	2/3以内（限度額 500千円）、助成期間 単年度
7年度実績	19件



《国内商談会出展》

《展示会セミナー》

・**ビジネスマッチング強化事業**

県外における発注案件の掘り起こしと県内モノづくり企業のPRを積極的に行い、新たな取引先の紹介あっせんに繋げる他、商談会や工場見学を実施して県内企業が発注企業と直接商談できる機会を提供します。

7年度実績	<p>「かごしま取引商談会」 令和8年2月4日 鹿児島市内 参加企業：発注 21社、受注 53社 取引成立：6件 初回取引金額：1,479千円（令和8年3月末時点）</p> <p>「ミニ商談会」（現場商談）7回開催 参加企業：発注 7社、受注 32社 取引成立：3件 初回取引金額：720千円</p>
-------	--



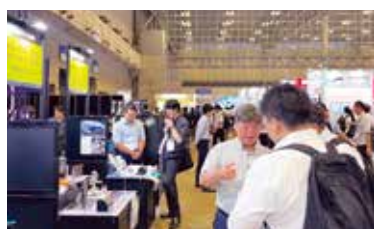
《かごしま取引商談会》

《他県機関との合同広域商談会（北九州・博多）》

大都市圏で開催されるモノづくり関連の展示会に出展し、県内企業の製品や加工サンプル品を展示して県内企業の加工技術をPRし、新たな取引先の紹介あっせんに繋がります。

【令和8年度予定】	ものづくりワールド東京	7月1日～3日	東京ビッグサイト
	中小企業テクノフェアin九州	7月8日～10日	北九州メッセ
	ものづくりワールド大阪	10月7日～9日	インテックス大阪
	モノづくりフェア	10月14日～16日	マリンメッセ福岡

7年度実績	<p>出展回数：3回 取引成立：4件 初回取引金額：319千円</p> <p>「ものづくりワールド東京」 令和7年7月9日～11日 幕張メッセ</p> <p>「中小企業テクノフェアin九州」 令和7年7月2日～4日 西日本総合展示場</p> <p>「モノづくりフェア」 令和7年10月15日～17日 マリンメッセ福岡</p>
-------	--



《ものづくりワールド 機械要素技術展（東京）》

《中小企業テクノフェアin九州（福岡）》

・半導体関連企業取引拡大支援事業

県内半導体関連企業のサプライチェーンへの新規参入や取引拡大を支援するため、県と連携して大規模な半導体関連展示会への出展等を実施します。

【令和8年度予定】	ネプコンジャパン東京秋	9月9日～11日：幕張メッセ
	〔九州〕半導体産業展	9月30日～10月1日：マリンメッセ福岡
	ネプコンジャパン名古屋	11月25日～27日：愛知県国際展示場

7年度実績	出展回数：2回 「〔九州〕半導体産業展」 「ネプコンジャパン」	取引成立：2件	初回取引金額：1,672千円 令和7年10月8日～9日 マリンメッセ福岡 令和8年1月21日～23日 東京ビッグサイト
-------	---------------------------------------	---------	---

・モノづくり情報収集提供事業

受発注情報の収集提供による新規取引先の紹介あっせんや、九州7県合同発注開拓調査の実施等により、県内モノづくり企業の取引拡大を支援します。

7年度実績	取引あっせん：416件 取引成立：70件	受発注企業訪問：延べ484社 初回取引金額：250,962千円
-------	-------------------------	------------------------------------

・取引かけこみ事業

中小企業の取引上の悩みについて、企業間取引や取適法等に詳しい相談員や弁護士が無料で相談に応じます（匿名可能・秘密厳守）。

7年度実績	窓口相談：70件 無料弁護士相談：7件
-------	---------------------

6 情報化支援 7,741千円

各種支援事業や企業経営に役立つ情報等の提供を行うとともに、当センターの会員（KISC会員）に対してIT化促進のための専門家等の派遣や人材育成等を支援します。

・情報支援事業

インターネットやメールマガジン等で情報提供を行います。

7年度実績	地元新聞への中小企業経営情報掲載：36回、メールマガジン配信実績：51回
-------	--------------------------------------

・KISC会員支援事業

会員企業に対して、情報誌「KISC」の提供や取引あっせんメールサービスの他、IT操作技術やIT化による生産性向上を実現するための講師・専門家派遣及びホームページ作成費用等助成とともに、社内情報化人材育成のためのIT資格（ITパスポート）取得助成などを行います。

7年度実績	情報誌「KISC」発行（5、8、11、2月） 取引あっせんメール配信実績：11回 情報化人材育成事業（社内パソコン研修）：16社 IT導入促進支援事業（専門家派遣）：3社 6回 IT資格取得支援事業：1社 ホームページ作成支援事業助成企業：10社 ITセミナー：1回 現場「カイゼン」導入支援事業（企業訪問）：323回
-------	---

7 人材育成支援 1,388千円

若手経営者等を対象とした人材育成塾の開催により、企業の人材育成を支援します。

・ものづくり経営者育成塾がごしま

県内ものづくり企業が成長し続けることを目的に、若手経営者、後継者候補、経営幹部等を対象に人材育成塾を開催します。

7年度実績	5回開催：県内外の経営者の講演聴講・企業視察、専門家によるワークショップ 年間テーマ：光り輝く組織は何かが違う！！ ～ダイバーシティとは何？成功の秘訣とビジョンを紐解く勉強会。～
-------	---

ベンチャープラザコーナー

第 89 回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

令和 8 年 2 月 12 日(木)に第 89 回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を開催し、(株)WISHシステムコンサルティング、(株)エヴォルト、(株)Eco-Porkの 3 社がビジネスプランを発表しました。

来賓の木村 鹿児島県商工労働水産部次長にごあいさつをいただいた後、会場・オンライン合わせて約 80 名の参加者が発表に興味深く耳を傾け、質疑応答も活発に行われるなど盛会となりました。



来賓の木村 鹿児島県商工労働水産部次長



会場の様子



展示コーナー

○発表その1 デジタル証明書で信頼を可視化 ～「ショメル」が拓く次世代インフラ～

株式会社 WISH システムコンサルティング

代表取締役 桑村 英利

鹿児島市東千石町14-10 天文館 NN ビル7F

TEL : 099-219-7623

URL : <https://wish-sc.co.jp/>



発表者の松村
事業開発部 部長



発表内容

《企業紹介》

(株) WISH システムコンサルティングは、2005年の創業以来、鹿児島市を拠点に企業の課題解決を支えてきたシステム開発会社です。20年にわたる実務経験で培った確かな技術力と品質管理を強みに、現在は「顧客の変革を支援する DX パートナー」として、業務システムの構築から先端技術の社会実装まで幅広く手掛けています。

地方から世界基準の品質を提供し、情報の信頼性が担保された公正で持続可能なデジタル社会の実現に貢献します。

《商品開発のきっかけ》

コロナ禍を経て、私たち自身の働き方や人とのつながり方も大きく変わりました。オンラインでの出会いが日常となる中で画面の向こうにいる相手のプロフィールを「信じる」しかない、そんな状況に私たちはもどかしさを感じていました。「画面の向こうにいるこの人、本当に信用できるのかな？」その不安を解消したいという思いが、この証明書サービス「ショメル」を開発するきっかけになりました。

《商品の特徴》

「ショメル」は、これまでの「紙」や「プラスチックカード」の証明書を単にデジタル化するだけのものではありません。デジタルの世界で「情報の正しさ」を、誰でも・どこでも・瞬時に確認できるようにする、新しい信頼の仕組みです。

1. これひとつで「発行・持ち歩き・確認」が完結。

これまでのデジタル証明書は、発行する組織、受け取る個人、確認する店舗などがバラバラのシステムを使う必要がありました。ショメルは、この3つの役割を一つのアプリに統合しました。組織はアプリで「デジタルな印鑑」を押して証明書を発行して個人はそれをスマホで安全に持ち歩き、確認する人は QR コードをスキャンするだけ。アプリひとつですべてが完結する圧倒的な使いやすさを実現しました。

2. 世界標準の仕様だからこそ、社会全体で「信頼」を共有できる。

ショメルは、国際的な標準仕様 (W3C 規格) を採用しています。これにより、一社のシステムで情報を囲い込むのではなく、多くの組織が共通のルールの上でつながる「オープンなインフラ」を実現しています。この共通の仕様によることで、ショメル以外の外部サービスや将来登場する新しいプラットフォームとも、スムーズに情報を連携させることが可能になります。

発表後の成果・感想

本発表後、会場の皆様から様々な専門的視点による忌憚のないご意見をいただき、非常に大きな成果を得ることができました。技術面においては、実装プロトコルや運用の堅牢性について、実務に即した具体的な課題を再認識することができました。また戦略面においても、市場参入の障壁やパートナーシップの



構築手法など、我々の視点だけでは及ばなかった新たな気づきを数多く得られたことは、事業計画を精査する上で極めて有益な収穫となりました。

鹿児島で20年積み上げてきた我々のものづくりの姿勢と、次世代の信頼基盤を創るという理念に対し、多方面から多くの共感と期待の声をいただいたことは、プロジェクトを推進する大きな原動力となります。今回いただいた貴重な助言を真摯に受け止め、構想の解像度をより一層高めてまいります。

今後の展望

今後は、今回得られた技術的・戦略的な助言を参考に、まずは国内での「信頼のインフラ」としての実績づくりを最優先で推進します。フェーズ1・2における自治体やパートナー企業との共創を加速させ、ショメルが日常の実務に溶け込む成功モデルを、日本各地で次々と現実のものにしてまいります。

○発表その2 社労士連携でつくる、労働法改正時代の“辞めない職場”予防モデル ～人的資本リスクを可視化する組織健康インフラ～

株式会社エヴォルト

代表取締役 金子 陽飛
鹿児島市唐湊2丁目18-2
TEL : 099-299-2313
URL : <https://rishoku-boshi.com/>



発表者の金子代表取締役



発表内容

《企業紹介》

(株)エヴォルトは「何も起きていない今」に着目し、組織の状態を継続的に可視化することで職場環境の改善と人材定着を支援するサービスの開発・提供を行っています。テクノロジーと社労士の専門知見を組み合わせ、中小企業における持続的な組織づくりを支援しています。

《商品開発のきっかけ》

中小企業における離職や労務トラブルは、突発的に発生するものではなく、日々の業務やコミュニケーションの中に小さな変化として現れていることが多くあります。

しかし、人事専任者の不在や属人的な管理体制により、その変化が見過ごされ、問題が顕在化してから対応せざるを得ないケースが少なくありません。

本事業は、こうした「見えにくい変化」に着目し、企業が日常的に組織の状態を把握し、対話や改善につなげる仕組みとして開発されました。

《商品の特徴》

本サービスは、月1回・約3分の簡易アンケートにより、従業員の働きやすさや職場の状況を継続的に可視化するシステムです。

得られたデータは評価や監視のためではなく、職場内の対話や気づきのきっかけとして活用されます。部署単位での状態を直感的に把握できるため、現場レベルでの小さな変化にも気づきやすい設計となっています。

また、本サービスは単なる可視化にとどまらず、必要に応じて社労士などの専門家の知見と組み合わせることで、中小企業でも実行可能な改善の方向性を検討できる点に特徴があります。

従来の人事管理ツールが「管理・評価」を主眼としているのに対し、本サービスは「対話・予防・定着」に重きを置いていることが大きな特長です。

発表後の成果・感想

発表後は、参加企業や支援機関の方々から「中小企業でも無理なく導入できる仕組みである」「現場の実感に近い課題設定で分かりやすい」といった声をいただきました。

また、社労士との連携による実務面での活用についても関心が高く、実証導入や今後の連携可能性について具体的な意見交換を行う機会となりました。

現在は、鹿児島県内の企業および社労士ネットワークを中心に導入・実証を進めています。

今後の展望

企業が日常的に組織の状態を把握し、継続的な改善につなげる仕組みとして地域に定着させ、「組織改善の標準モデル」としての確立を目指します。

さらに、人的資本経営の基盤として活用できる形へと発展させ、鹿児島発の取り組みとして全国展開も視野に入れています。



○発表その3 鹿児島から世界へ羽ばたく養豚DX

～更なる県内連携へ向けて～裾野広い養豚産業、鹿児島で養豚やりましょう～

株式会社 Eco-Pork

代表取締役 神林 隆

東京オフィス：東京都千代田区神田錦町3丁目21番地7号

鹿児島オフィス：鹿児島県曾於市財部町南俣1343 SKLV

愛知試験農場：愛知県田原市大草町

TEL：080-9945-1129

URL：https://www.eco-pork.com/



発表者の鈴木取締役



発表内容

《企業紹介》

(株)Eco-Porkは2017年に創業した、養豚DXを推進するデータカンパニーです。クラウド型養豚経営支援システム「Porker」を中心に、AIやIoTを活用したプロダクト開発を進め、農林水産省・経済産業省の採択や各種受賞を経て事業を拡大してきました。

近年は海外展開や環境価値創出にも注力し、データを基盤とした持続可能な養豚業の構築、世界の食糧危機の解決を目指しています。

《商品開発のきっかけ》

養豚は世界で約40兆円、国内でも約6,000億円規模の大きな産業です。しかしその多くが熟練者の勘や経験に依存しているのが現状でした。

こうした課題に対し、私たちは養豚にもデータに基づく生産プラットフォームが必要だと考えました。豚の状態や飼育環境、給餌などの情報を可視化・最適化することで、生産性と持続性を両立する養豚の実現を目指し、「Porker」の開発がスタートしました。

《商品の特徴》

「Porker」は、繁殖・肥育・投薬・出荷などの生産情報を一元管理できるクラウドサービスです。スマートフォンやタブレットでデータを入力し、現場の状況が見える化。自動分析機能により、課題を抽出し、データに基づく経営改善を支援します。現在、母猪ベースで約15%の国内市場のシェアを持ち、150農場以上に導入されているなど、現場での活用が進んでいます。

「PigDataStation (PDS)」は、AIを活用し、非接触で頭数カウントと体重推計を行えるソリューションです。天井に設置したカメラで通路を歩く豚を撮影し、リアルタイムで頭数と推計体重を表示します。頭数カウント精度は99.9%^{*1}、体重推計誤差は±3%^{*2}程度と高精度を実現し、人手による目視や計測を大きく上回ります。

さらに、従来作業と比較して大幅な時短が可能で、現場の負担軽減と効率化に貢献します。

^{*1*}^{*2} 当社実験環境による測定結果および試算に基づく

発表後の成果・感想

Eco-Porkは、鹿児島大学・JA鹿児島県経済連などと連携して令和2年度に農林水産省スマート農業プロジェクトを実施しました。その後も産官学での実証を重ね、鹿児島県曾於市に拠点を構えるなど、地域との連携を深めてきました。

鹿児島は日本有数の養豚産地であり、技術実証と事業展開の両面で極めて重要な地域です。本発表を通じて、新たな連携やビジネスの可能性を実感する機会となりました。

今後の展望

養豚は裾野の広い産業であり、金融、保険、建設、飼料、IT、物流など、多様な企業に関わる可能性を持っています。

私たちは、養豚農家と異業種企業の橋渡しとなることで、新たな参入を促進し、産業全体の発展に貢献していきたいと考えています。

養豚を起点に持続可能な食料生産の基盤を構築し、次世代へ食肉文化をつないでいきます。



現場でのPorker操作風景



AIカメラ「PigDataStation」

会員企業PRコーナー【KISC会員限定】

事業案内、商品案内、新製品紹介等
会員企業の営業活動を支援します！

掲載企業募集中！ KISC会員限定で掲載します（無料）。お申込みは総務情報課（099-219-1275）まで

株式会社プランテムタナカ

<https://www.plantem-tanaka.co.jp>

ものづくり百年の技術で暮らしを支え、未来を守る

★プランテムタナカの5つの魅力★

- ①創業103年の安定企業！
官公庁との取引で景気に左右されない
- ②未経験OK！
先輩がマンツーマンでサポート
- ③資格取得は会社負担！
スキルも収入もUP♪
- ④賞与年3回！
頑張りを評価し、賞与で還元◎
- ⑤高い技術を持つ職人が多数！
女性技術者も活躍中



鹿児島市七ツ島1丁目1-26
TEL 099-262-1201

◆事業内容

暮らしに欠かせない「水」に関わる設備の設計から製作・据付・メンテナンスまで一貫して行っている会社です。
＼ぜひご覧ください！／



Instagram PR動画「先輩の声」
【1988年11月会員加入】

指宿酒造株式会社

<https://www.riemon.com>

地元で愛される焼酎（目指せ！地域No.1）

◆新商品◆

「夏限定利右衛門ジョイホワイト」

原料芋に柑橘系の香りがでやすいジョイホワイトを使用し、低温発酵することで、爽快感のある夏にぴったりの味わいに仕上げております。

おすすめの飲み方

→炭酸割り／ロック

炭酸割り／ロックでお飲みいただくと、フルーツソルベを思わせるスッキリとした甘みをお楽しみいただけます。ぜひご賞味くださいませ。



指宿市池田6173-1
TEL 0993-26-2277
FAX 0993-26-2278
資本金 5,000万円
従業員数 17名

◆事業内容

本格芋焼酎製造販売
利右衛門、あわせ黒利右衛門を含む約25種類の芋焼酎と梅酒の製造販売をしています。

【1989年8月会員加入】

株式会社 丸俊

<https://e-marutoshi.co.jp/>

新ブランド「EMMY'S（エミーズ）」から新商品！かつお香る、サクサク食感のクッキー

◆老舗菓子メーカー九面屋さんのコラボ商品「かつおgaクッキー」

鹿児島県枕崎産かつお節をはじめ、こだわりの原料を使用しています。

ちょっとした手土産やティータイムお子さまのおやつにも喜ばれます。

新登場記念特別価格で現在648円でネット・通販限定で販売中。

内容量：8枚入り（個包装）

／賞味期限：180日



【本社／鹿児島工場】

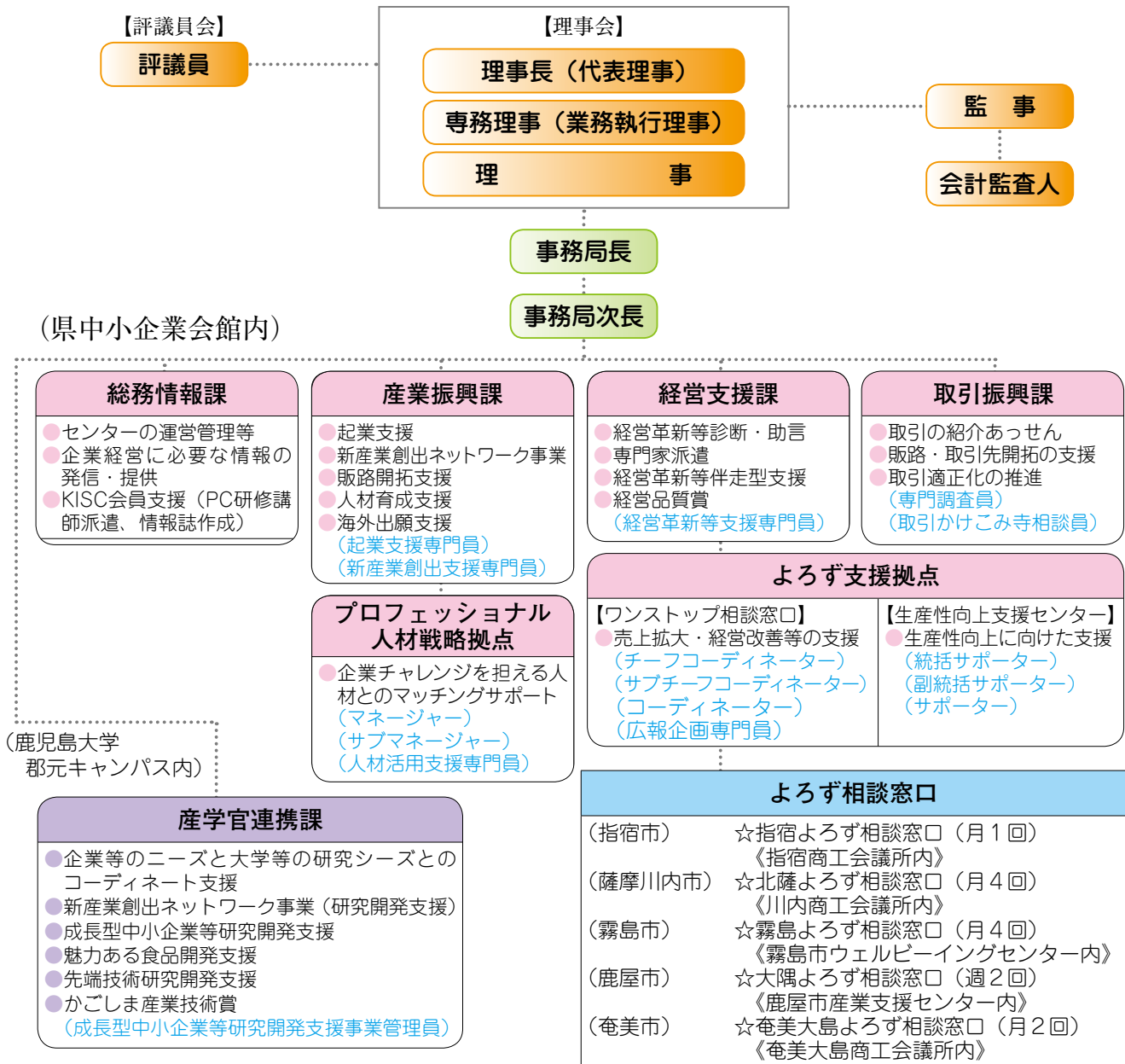
鹿児島市小松原1丁目46-1
TEL 099-266-2211
資本金 1,050万円
従業員数 38名

◆事業内容

鯉節・かつお製品・削りぶし・海産珍味・佃煮等の製造／海陸産物の加工業務および卸・小売販売

【2020年4月会員加入】

(公財) かがしま産業支援センター組織・機構



INFORMATION TEL・FAX・メールアドレス

課名	TEL	FAX	メールアドレス
総務情報課 （情報）	099-219-1271 099-219-1275		setubi@kisc.or.jp info@kisc.or.jp
産業振興課	099-219-1272	099-219-1279	ikusei@kisc.or.jp
経営支援課	099-219-1273		keiei@kisc.or.jp
取引振興課	099-219-1274		torihiki@kisc.or.jp
産学官連携課	099-214-4770	099-214-4771	sangaku@kisc.or.jp
よろず支援拠点	099-219-3740	099-219-1279	kagoyoro@yorozu-kagoshima.go.jp
指宿よろず相談窓口 （指宿商工会議所内）	(注) 相談予約はよろず支援拠点にご連絡ください。 TEL：099-219-3740 FAX：099-219-1279		(住所) 指宿市大牟礼1-15-13
北薩よろず相談窓口 （川内商工会議所内）			(住所) 薩摩川内市神田町3-25
霧島よろず相談窓口 （霧島市ウェルビーイングセンター内）			(住所) 霧島市国分中央3-43-10
大隅よろず相談窓口 （鹿屋市産業支援センター内）			(住所) 鹿屋市北田町3-3-23
奄美大島よろず相談窓口 （奄美大島商工会議所内）			(住所) 奄美市名瀬入船町12-6
生産性向上支援センター			099-219-1277
プロフェッショナル 人材戦略拠点	099-219-9277	099-219-1279	projinzai@kisc.or.jp

日本最大級の来場者を誇る国際物流総合展が「九州」で初開催!



INNOVATION EXPO [九州・東アジア]

会期 2026.6.24(水)・25(木)
24日 10:00～17:00 / 25日 10:00～16:00

会場 マリンメッセ福岡 B館・A館(一部)

主催 一般社団法人 日本産業機械工業会 一般社団法人 日本産車両協会
一般社団法人 日本パレット協会 一般社団法人 日本運搬車両機器協会
一般社団法人 日本物流システム機器協会 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会
一般社団法人 日本能率協会



来場についての問い合わせ先

一般社団法人日本能率協会 来場者ヘルプデスク
受付時間: 9:30～18:00 (土日は除く)
(株) ケイ・スリー・クリエーション 電話: 03-6809-2707
e-mail: helpdesk@k3c.co.jp

来場事前登録受付中



ご来場には
事前登録が
必要です。

主催者講演会・出展者セミナーは事前登録制です。

展示会に来場登録のうえ、お申込ください。なお、満席の場合でも当日空きがあれば、聴講いただけます。

STEP 1 来場事前登録

Mail:
ID:
会社名:
登録

来場事前登録フォームにて事前登録をし、来場者バッジを取得。

STEP 2

来場者バッジをダウンロード・印刷



来場者バッジを印刷し会場へお越しください。

※来場者マイページでは、講演会・セミナー聴講事前申込が行えます。

STEP 3

会場へ入場



来場者バッジを、会場で配布されるバッジホルダーに入れて首から下げて会場へご入場ください。

関係部署の方と皆様でぜひご来場ください!! 案内状をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

団体登録受付

8名以上でご来場の場合、専用フォームに登録いただくことで、まとめて登録可能です。

JR博多駅より無料シャトルバス

9時15分から15分間隔で運行!

混雑する時間帯は
ジャンボタクシーを運行し増便いたします。



開催概要

名称	九州・東アジア 国際物流総合展 INNOVATION EXPO 2026
目的	内外の最新物流機器・システム・情報等のソフトとハードを一堂に結集し、 交易振興・技術の向上・情報の提供・人的交流等を促進することを目的とする。
会期	2026年6月24日(水)～25日(木) 24日 10:00～17:00 / 25日 10:00～16:00
会場	マリンメッセ福岡
主催	一般社団法人日本産業機械工業会 / 一般社団法人日本産車両協会 / 一般社団法人日本パレット協会 / 一般社団法人日本運搬車両機器協会 / 一般社団法人日本物流システム機器協会 / 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 / 一般社団法人日本能率協会
入場料	¥1,000 (ただし、事前登録証持参者は無料)

